



日本臨床歯周病学会 40周年記念大会

会期 2022年7月30日(土)～31日(日)

会場 パシフィコ横浜 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

大会長 清水 宏康 先生 実行委員長 神成 貴夫 先生



ランチョンセミナー 10

現地開催

歯周外科・歯周組織再生療法の勘所 ～リグロス®を最大限有効活用するために～

The Key to Periodontal Surgery and Periodontal Regeneration Therapy
～To make the most effective use of REGROTH®～

開催日時 2022年7月31日(日) 学会2日目 11:40～12:30

会場 5階 503号室 (パシフィコ横浜)

ともこデンタルクリニック 院長

ひぐちファミリー歯科 院長

座長 武田 朋子 先生

演者 樋口 琢善 先生

本セミナーは現地開催です。
事前参加登録が必要となります。

- 事前参加登録は、学会ホームページよりお願いいたします。
- 下記URLまたは右の二次元コードから学会ホームページにアクセスし、ご確認ください。
<https://www.jacp40-2022.jp/>
- 6月20日までに登録があった方には、参加証と一緒にランチョンチケットを同封発送予定です。
- 事前参加登録締め切り後、残席がある場合はセミナー当日に企業ブースでチケットを配布いたします。



共催：日本臨床歯周病学会 40周年記念大会 / 科研製薬株式会社

歯周外科・歯周組織再生療法の勘所

～リグロス®を最大限有効活用するために～

The Key to Periodontal Surgery and Periodontal Regeneration Therapy

～To make the most effective use of REGROTH®～

歯周外科は観血処置であり、患者さんにとっても、我々医療サイドにとっても負担は大きく、敬遠されがちな処置であると考えます。しかし、理論的根拠に裏付けされた治療術式と明確な目的を持って歯周外科を行う事で、歯の延命や審美性・機能性の長期予後も期待出来る有効性・有益性の高い処置である。

どの分野の治療でも基本術式は大切であるが、とりわけ歯周外科のような技術の差が治療結果を左右する分野では、基本術式を身につけることが非常に重要となる。一本の切開、一针の縫合にも意味があり、各ステップにおける器具の選択やその使用方法などを精確に行う事が出来なければ、どんなにシンプルな術式であっても極めて困難に感じられることだろう。

そこで「歯周組織再生療法の勘所」と題し、スライドや図説を交えながら、できる限り分かりやすく歯周組織再生療法の基本的かつ重要なポイントについて解説させて頂く。また成長因子を活性させるリグロス®の特徴を最大限活用し、より効率的に歯周組織再生療法に対応しているケースを提示する。歯周外科にこれから取り組んでいきたい先生はもちろん、アドバンスな処置をされている先生にとっても臨床の一助となれば幸いです。



ひぐちファミリー歯科 院長

樋口 琢善 先生

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分ご注意ください。

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

【効能・効果に関連する使用上の注意】

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

【使用上の注意】<抜粋>

1. 重要な基本的注意
(1)本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
(2)術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。
2. 副作用
本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中β₂ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。(承認時)

分類	頻度	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹	硬結、肥厚
精神神経系			頭痛	
臨床検査		尿中アルブミン陽性、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇	AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿酸陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇	

●その他の使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

2021年2月改訂(第5版)



歯周組織再生剤

リグロス® 歯科用液キット 600 μ g / 1200 μ g
REGROTH® Dental Kit 600 μ g / 1200 μ g トラフェルミン (遺伝子組換え) 製剤

薬価基準収載

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

製造販売元
[文献請求先及び
問い合わせ先]



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室